

のみなさんニュースバーシル

公益社団法人
皆野町シルバー
人材センター

活き活きシルバーを 目指して

理事長 中 健治

新しい年を迎えて1月22日の雪から数日寒い日が続いていましたが、会員の皆様には元気に活躍されている事を心から喜んでおります。シルバー人材センターの新年会でも多くの会員の皆様と石木戸町長はじめ来賓の方々と楽しい時間を共有し、親睦を深める事が出来ました。

最近、スポーツ界では若い選手達の活躍が目立っていますが、仕事の面ではシルバーの活躍の場が広がっている様な気がします。いずれにしても一所懸命に頑張っている人は美しいものです。

大湊地内郷平橋付近の竹の伐採事業では、河川敷を含め美しい故郷の風景が蘇りました。

障子張り作業も一枚一枚心を込めて取り組んでいただきました。

干し芋作りは、味は勿論衛生的で透き通る宝石の様な出来映えでした。

正月飾り作りも、寒い作業場で

皆なで協力しながら頑張りました。猪苗代町シルバー人材センターから視察見学の申し込みが入る程、遠方からも注目されています。

これら会員の皆様の仕事ぶりに理事の一人として感動し感謝しております。

これからも、心を込めた丁寧な仕事と会員の皆様がお互いに理解して協力しあえる活き活きシルバーをモットーに活動して参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

正月飾り業務について

吉橋 包弼

新年の神様、年神様は、その年の健康や商売繁盛など幸せをもたらすため山から降りてきてくれます。正月飾りは、その年神様を迎えるためのものなのです。

正月飾りで一番重要とされているのがしめ縄です。これは、「年神様をお迎えするのにふさわしい場所ですよ。」と伝えるもので、しめ縄の内は神聖な場所であり、俗世との境界線を示すものと言

われています。この簡易版が環飾り等で災いをもたらすものが家内に入らぬようにという意味もあります。玄関に門松を飾るのは、松は「年神様」が降りてこられる依代(よりしろ)となるからです。ですから、竹が目立ちますが、主役はもちろん松です。

竹も松も生命力や繁栄、長寿の意味合いがあり、幸せを願うものです。

これらの正月飾りには縄が使われます。稲を田に植え、青田刈りをし、室内乾燥をしてから十、十二月にかけて制作をしています。7人で作業をしておりますが、他に自宅で作業をしている方もおります。

先輩方のあたたかい指導のもとで和気あいあいの大変楽しい職場ですので、ぜひ参加してみませんか？お待ちしております。

今年度より、門松を役場庁舎玄関に寄贈させていただきました。町民の皆さまが、幸せな年を迎えられますように願っております。

